

事業の進め方（変更後）

- ① 脱炭素化の進捗や地域課題の分野に応じた**支援施策を整理・提示**。
また、**地域支援のあり方を検討**。
- ② 地域産業などの分野ごとに**将来イメージを例示**。
- ③ 脱炭素化に向けた施策を行う際の**基礎となる市町村ごとの情報を収集し、可視化**。

① 支援策

② 将来イメージの例示

③ 情報の可視化

第2回懇話会
10月29日
(本日)

たたき
台

アンケート
調査結果

第3回懇話会
12月下旬

素案

たたき
台

たたき
台

第4回懇話会
2月下旬

案

案

案

各アウトプットの
活用方針

- 市町村が取り組みたい脱炭素関連事業と紐付く補助メニューが即時に理解可能なツールとして市町村に展開し、各種補助事業の活用を促進。
- 地域課題を同時解決可能な分野毎に国や道の支援策と連動した脱炭素イメージを作成・展開することで、同様の課題を抱える自治体の脱炭素化の検討手段として活用。
- 再エネポテンシャル・GHG排出量等を可視化・展開することで、各自治体の現状と可能性を認識させる脱炭素意識醸成用ツールとして活用。

意見を踏まえ修正

【参考】第1回懇話会での
事業の進め方

脱炭素地域実現可能性の検討
(15地域程度)

8月上旬

有識者会議
構造別に6候補選定

地域構造別の広域自治体が実施
すべき
脱炭素支援策の検討

10月上旬
(中間)

有識者会議
支援策検討
モデル地域の選定
2月下旬(最終)

モデル地域を確定、
各種支援策構築

2月下旬

報告書に
調査結果を整理